



春明の子どもたち（5号）

副園長 榎本トミ

「ハートのレオナとエレナ」（ポプラ社）

このお話の主人公は、アフリカのサバンナに暮らす双子のライオンの子どもレオナとエレナのお話です。

おでこにハートのもようがあるレオナと、しっぽにハートのもようがあるエレナが、毎日の暮らしの中で「なんだろう?」「どうしてだろう?」と心を動かしながら、さまざまな発見をしていく物語です。

子どもたちも、まるで一緒に冒険しているかのように物語の世界に入り込み、自然や周りの世界への興味をふくらませてくれる、やさしさにあふれた絵本です。

作を手掛けたのは、歌手として広く活躍されている MISIA (ミーシャ) さん。音楽活動だけでなく、長年アフリカの子どもたちへの支援や文化交流にも関わってこられ、その経験や思いがこの物語の中にも込められています。そして絵を担当されたのは、画家の佐藤真生 (さとうまお/MAO) さんです。



佐藤さんは春明保育園とご縁のある方で、先日節分にちなんだ「鬼の帽子づくり」のワークショップをおこなってくださいました。「真生さん!と呼んでね!」と子どもたちに優しく声をかけてくださいり、会場は終始笑顔いっぱいになり、子どもたち一人ひとりがそれぞれ違う発想で、個性あふれる鬼の帽子を作ることができました。また、子どもたちの描いて欲しい動物たちを大きな紙に「顔のかたちは?」「目は?」「この形でいい?」等言いながら子どもたちと一緒に即興で描いてくださいました。ぞう、ぱんだ、きりんとイメージから実際の動物そのものになっていく凄さをみせていただきました。なかでもきりんは完成するまで横に長い形で描いていましたので、子どもたちも私たち大人も、どうなることやらと見ていました。描き終えて、縦にしたら、ちゃ~んと「きりん」になっていたことに「あってる!」「あってたあ~!」とその動物の特徴と正確さに大きな驚きをもって、絵の楽しさを体験させていただきました。憧れのまなざしをもって、大きな拍手が起り、真生さん大好きコールもおこりました。とても楽しくこころに残る時間となりました。



さらに、絵本に登場するレオナとエレナのぬいぐるみも園にプレゼントしてくださいり、今では子どもたちの人気の存在になっています。絵本の世界がぐっと身近に感じられ、親しみを持って楽しんでいます。

絵本のやわらかな色づかいや、のびやかであたたかみのある表現からも、佐藤真生さんの明るくやさしいお人柄が感じられます。

この絵本は・「世界への好奇心」・「自然へのまなざし」・「なぜ?」と感じる心を、親子で楽しみながら育んでくれる物語です。

ご家庭での読みきかせのひと時が、さらに豊かな時間となりますように。ぜひ、機会がありましたら手にとってみてください。

